



基礎研究医養成プログラム 所属学生の活動報告

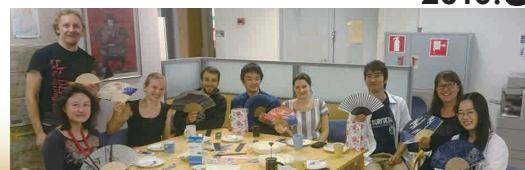
海外研究留学

基礎研究医養成プログラムでは、所属研究室での活動実績や英語能力により選抜した学生に対し、海外での短期研究留学の旅費支援を行っています。

3年生の鈴木隆太郎君、後迫春輝君が、ヘルシンキ大学医学部病理学教室へ短期研究留学しました

2016.8

解剖学・生体構造科学講座 栗原秀剛 先任准教授のご紹介により、2016年8月に3年生の鈴木隆太郎君と後迫春輝君が、ヘルシンキ大学医学部病理学教室Dr. Sanna Lehtonen Research Groupへの短期研究留学を行いました。



海外学会発表

第41回 International Aldosterone Conferenceにて、3年生(発表当時)の上野晃平君、安永光毅君が研究成果を発表しました

2016.3.30-31

2016年3月30日-31日に米国(ボストン)で開催された第41回 International Aldosterone conferenceで、3年生(発表当時)の上野晃平君と安永光毅君が研究成果のポスター発表を行いました。上野君の発表題目は「Expression and Localization of Mineralocorticoid Receptor in the Non-Classical Target Organs of Aldosterone in Mice」、安永君の発表題目は「Roles of Mineralocorticoid and Glucocorticoid Receptors in the Hippocampal Lesion Formation in Mice」です。



Gordon Research Conference: Proteoglycansにて、大学院3年生の山下由莉さん、5年生の鈴木佑治君、山田泰平君が研究成果を発表しました

2016.7.10~15

2016年7月10日~15日に米国(アンドーバー)で開催された Gordon Research Conference: Proteoglycans で、大学院3年生の山下由莉さん、5年生の鈴木佑治君、山田泰平君が研究成果の発表を行いました。発表題目は、山下さん(ポスター発表)「The Role of the Heparan Sulfate Proteoglycan, Perlecan, in Lipid Dynamism of Adipose Tissues」、鈴木君(ポスター発表)「The structural and compositional changes of chondroitin sulfate in the aged hippocampus」、山田君(ポスター及び口頭発表)「Age-Associated Changes in Heparan Sulfate Structures Impair FGF-2 Signaling in Neurogenesis」です。



International Congress of Immunology 2016にて、5年生の金沢華造君が研究成果を発表しました

2016.8.21~26

2016年8月21日から26日にオーストラリア(Melbourne Convention and Exhibition Centre)で開催された International Congress of Immunology 2016 で、5年生の金沢華造君が研究成果のポスター発表を行いました。発表題目は、「An angiogenic peptide AG-30/5C, stimulates various functions of human mast cells」です。



JUIC Symposium, 2016「Youはどうして海外へ?」で4年生の泉宜秀君が発表を行いました

2016年11月18日(金) 18:30-20:00に、センチュリータワー南12階講義室において、順天堂大学大学院医学研究科、医学部 総合診療科研究室、医学教育研究室、基礎研究医養成プログラム、臨床研修センター本部、国際交流センター共催により、「Youはどうして海外へ?」が開催されました。第一部 留学経験者は語る…及び第二部 発表者によるパネル・ディスカッ

ションにおいて、4年生の泉宜秀君が2015年夏に米国ボストンへ研究留学を行った際の経験について発表し、参加者からの留学に関する質問に答えました。また、多数のプログラム登録生がシンポジウムに参加し、実際にどのように留学する機会を得て、どのような経験ができるのかなど具体的なお話を聞くことのできる大変良い機会となりました。

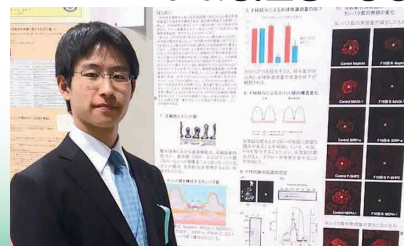


国内学会発表



第121回日本解剖学会総会・全国学術集会にて、3年生(発表当時)の梁成秀君が優秀演題賞を受賞しました

2016年3月28日～30日に郡山（ビッグパレットふくしま）で開催された第121回日本解剖学会総会・全国学術集会で、3年生（発表当時）の梁成秀君が研究成果のポスター発表を行い、優秀演題賞を受賞しました！発表題目は、「DPPIV抗体で惹起される足細胞スリット膜の動的変化について」です。



2016.3.28~30



第48回日本結合組織学会学術大会で大学院3年生の山下由莉さんがYoung Investigator Awardを受賞しました

2016年6月24-25日に長崎（長崎大学医学部 良順会館・記念講堂）で開催された第48回日本結合組織学会学術大会で、大学院3年生の山下由莉さんが研究成果を口頭発表し、Young Investigator Awardを受賞しました！発表題目は「Regulation of metabolic dynamics by perlecan in adipose tissue」です。

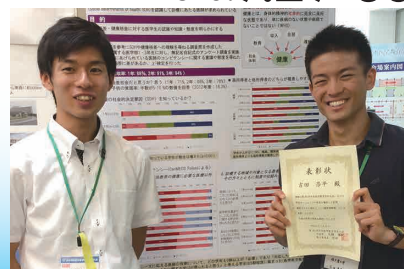


2016.6.24-25



第48回日本医学教育学会大会で4年生の吉田昂平君、武藤優樹君が研究成果の発表を行い、吉田昂平君が優秀賞を受賞しました

2016年7月29-30日に大阪医科大学で開催された第48回日本医学教育学会大会で4年生の吉田昂平君と武藤優樹君が研究成果のポスター発表を行い、吉田君が優秀賞を受賞しました！吉田君の発表題目は「健康格差と社会的要因に関する医学生意識・態度—横断的調査」、武藤君の発表題目は「健康格差時代の医学教育：地域における体験学習に基づく学生からの提言」です。

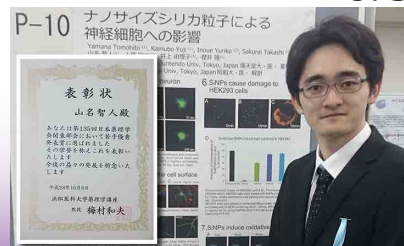


2016.7.29-30



第135回日本薬理学会関東部会にて4年生の山名智人君が優秀発表賞を受賞しました

2016年10月8日に浜松（アクトシティ浜松 研修交流センター）で開催された第135回日本薬理学会関東部会で、4年生の山名智人君が研究成果のポスター発表を行い、優秀発表賞を受賞しました！発表題目は、「ナノサイズシリカ粒子による神経細胞への影響」です。



2016.10.8

基礎研究医養成のための順天堂型教育改革

平成24年度 文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択されました。(39大学申請、10大学選定)

- ・この事業は、医学部及び医学系大学院において、魅力ある基礎研究医養成プログラムを構築する優れた取組みを支援するものです。
- ・これまでの研究医養成枠、基礎医学研究者養成奨学金貸与等の取り組みに加え、医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを実施します。

基礎研究医養成プログラム専用スペース



本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南
7階S703

最新情報はコチラ → <http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>

お問合せはコチラ → e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

本郷・お茶の水キャンパス

基礎研究医養成プログラム室 (03-5802-1537、内線 3486)